

## (独) 科学技術振興機構理事 (個別業務管理担当) 選任理由

本法人の使命は、新技術の創出に資することとなる科学技術に関する基礎研究、基盤的研究開発、新技術の企業化開発等の業務等を総合的に行うことにより、科学技術の振興を図ることにある。

そうした組織にあつて、本ポストは、そのミッションとして、主に企画及びイノベーション推進事業を担当するものであり、世界及び我が国の科学技術の動向を理解しているとともに、組織運営に関する十分な経験と相応の知識を有しているといった資質が求められる。

本件公募に対しては、106人の応募があり、選考委員会による書類選考で5人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、理事として適任であるという高い評価を得た4人を理事長に提示し、これに基づき、文部科学大臣との協議を経た上で、理事長が眞峯隆義氏を選任したところである。

眞峯隆義氏は、選考委員会が適任であると判断した者の中で、職務内容書で必要とされている科学技術の動向に対する理解、イノベーション推進事業等の業務に関する遂行能力、組織運営の経験などから、本ポストの理事として最も適任である。また、民間企業における研究開発の現場を専門家として熟知しているとともに海外との高次元な交渉経験を有しているほか、現在は大学の特任教授として産学連携の業務に従事するなど、本ポストにおいて主として担任するイノベーション推進事業等の業務について多くの知見を有している。さらに民間で培われたコスト意識や柔軟な職務遂行も期待できる。文部科学大臣及び理事長もそうした能力に大いに期待しているところである。

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・会社役員	4名
・大学教授	2名
・ <u>ジャーナリスト</u>	<u>2名</u>
計	8名